

水稲新奨励品種「あさひの夢」の特性

1. 試験のねらい

栃木県の水稲の作付面積（69,400ha）のうち「月の光」は11.6%を占め、県中南部の縞葉枯病の発生が問題となる地域に作付されてきた。月の光は中生品種で、縞葉枯病抵抗性で栽培性が優れているものの食味が劣るため、月の光に代わる良食味、良品質多収、縞葉枯病抵抗性の品種を選定し、栃木県産良食味米の安定生産を図る。

2. 育成の経過

「あさひの夢」は、良品質、良食味で縞葉枯病抵抗性品種の育成を目標に、昭和60年に愛知県総合農業試験場において、「愛知70号」を母、「愛知56号」/「愛知65号」のF₁を父として交配され育成された。

本県においては、平成6年から配付を受け奨励品種決定予備調査で検討し、平成7年から奨励品種決定本調査に繰り入れ、さらに平成8年から現地調査に供試し、県内の地域適応性を検討した。その結果、成績が良好であったので、平成12年2月に奨励品種に採用した。

3. 特性の概要

あさひの夢は、月の光と比較して次のような特徴がある。

- (1) 出穂期は1～2日程度、成熟期は2～3日程度遅い中生種である（表-1）。
- (2) 稈長はやや短く、穂長は同程度である。穂数はやや多い（表-1）。
- (3) 耐倒伏性は同程度に強い（表-1）。
- (4) 早植栽培、普通植栽培ともに多収である（表-1）。
- (5) 千粒重は、並からやや重く、品質・等級は同程度である（表-1）。
- (6) いもち病には同程度で葉いもちは「やや強」、穂いもちは「強」、白葉枯病にはやや弱く「中～やや弱」である（表-2）。
- (7) 縞葉枯病抵抗性である（表-2）。
- (8) 耐冷性は同程度で「弱」である（表-2）。
- (9) 食味は月の光より優り、初星にやや優る良食味である（表-3）。

4. 栽培上の留意点

栽培性に優れるが、多肥栽培では食味の低下及び倒伏の恐れがあり、また早い追肥は屑米が多くなるので避ける。

5. 成果の要約

本県産米の良食味化を図るため、月の光に代わる縞葉枯病抵抗性で良品質多収、良食味の「あさひの夢」を奨励品種に採用した。

（担当者 作物品種開発研究室 伊澤由行、池田二郎、倉井耕一、小林俊一、出口美里）
現農業大学校、現遺伝子工学研究室、現いちご研究室

表 - 1 生育・収量調査結果

品種名	栽培 様式	出穂 期 月日	成熟 期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度	病害の程度			玄米 重 kg/a	同左 比率 %	千粒 重 g	品質	等級
								葉い もち	穂い もち	紋枯 病					
あさひの夢 対)月の光 比)アキニシキ	標	8.11	9.28	80	21.3	352	0.1	0.0	0.6	0.1	66.6	108	22.3	1.8	1中
		8.10	9.26	82	21.7	326	0.1	0.0	0.3	0.2	61.5	100	22.1	1.9	1中
	準	8. 8	9.24	92	19.7	394	1.1	0.1	0.4	0.1	62.5	102	21.6	1.7	1中
あさひの夢 対)月の光	普通	8.28	10.20	79	20.7	328	0.0	0.4	0.3	0.4	53.4	110	22.9	2.2	1中
	植	8.26	10.17	82	21.0	300	0.0	0.3	0.2	0.3	48.7	100	22.7	2.3	1中

注) 1 標準栽培：5月上旬移植、平成6～11年の平均。
普通植栽培：6月中旬移植、平成7～11年の平均。
2 倒伏および病害の程度は、0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚で表した。
3 品質および等級は宇都宮食糧事務所調べ。品質は1.0(上上)～9.0(下下)、等級は1上～3下の9段階で表した。

表 - 2 特性検定試験

品 種 名	耐冷性	穂発芽性	葉いもち	穂いもち	白葉枯病	縞葉枯病
あさひの夢 対)月の光	弱 弱	難 やや難	やや強 やや強	強 強	中～やや弱 中	強 強

表 - 3 食味官能試験

年月日	品 種 名	パネル数	総合評価	外 観	香 り	味	硬 さ	粘 り
H10.11.25	あさひの夢	13人	0.23	0.23	-0.15	0.39	0.15	0.31
	月の光		-0.31	-0.08	-0.08	-0.23	0.00	-0.15
H11.11.17	あさひの夢	13人	0.31	0.23	-0.39	0.23	0.31	0.31
	月の光		-0.85**	-0.54	-0.31	-0.62*	-0.15	-0.54

注) 1 基準品種は当場の初星とした。
2 調査は、食糧庁方式のパネルテストに準じて行い、-3～+3の7段階で評価した。
3 *は5%水準、**は1%水準で有意。

表 - 4 栽培試験における収量調査成績(平成11年)

基肥量 (kg/a)	追肥 時期	稈長	穂長	穂数	倒伏	1穂	総籾	登熟	玄米	千粒	屑米	品質	等級	玄米	
		cm	cm	本/m ²	程度	籾数 粒/穂	数百 粒/m ²	歩合 %	重 kg/a	重 g	重 kg/a				粗蛋 白%
0.4	-13	80	19.2	382	0.0	68.5	262	81.5	53.0	22.7	5.0	2.0	1中	8.5	
	-18	82	19.7	394	0.0	70.5	278	83.3	54.9	22.5	7.2	2.0	1中	8.5	
	-23	80	20.9	378	0.0	74.1	280	83.4	55.5	22.6	8.7	2.0	1中	8.5	
0.6	-13	80	18.7	387	0.0	69.0	267	85.1	52.9	22.4	5.3	2.0	1中	8.5	
	-18	83	19.6	397	0.0	71.3	283	82.9	54.3	22.1	7.3	2.0	1中	8.7	
	-23	83	20.5	397	0.0	73.0	289	81.7	54.8	22.1	10.4	2.0	1中	8.5	
0.8	-13	83	18.9	391	0.0	67.7	264	85.1	52.7	22.3	8.3	2.0	1中	8.6	
	-18	85	19.7	414	1.0	67.7	279	83.2	54.5	22.3	8.5	2.0	1中	8.3	
	-23	85	19.6	409	1.0	70.6	298	83.9	57.3	21.8	13.0	2.0	1中	8.4	
対)月の光	0.6	-18	84	20.3	351	0.0	72.6	255	74.2	44.0	22.1	2.1	2.0	1中	9.2

注) 1 追肥量は、N：0.4kg/a(肥料はBBNK-C202号を使用。)
2 倒伏及び病害虫、品質及び等級は宇都宮食糧事務所調べ。品質は1.0(上上)～9.0(下下)、等級は1上～3下の9段階で表した。
3 玄米粗蛋白含量はS社のGS2000を使用し測定。